



2023年6月23日

各 位

会社名 大豊建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 森下 覚恵
(コード番号1822 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部総務部長 小野 剛史
(TEL 03-3297-7000)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年3月末時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式比率については基準に適合していません。当社は、今回不適合となった流通株式比率を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 (2023年3月末時点)	3,604人	51,814単位	196億円	28.6%
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35.0%
計画期間	—	—	—	2025年3月末

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

当社は、2022年3月24日、株式会社麻生(基準日時点における筆頭株主)との間で資本業務提携契約を締結し、同社に対し、同社グループとの協業の推進による当社の中長期的な企業価値向上を目的として、第三者割当増資により当社普通株式850万株を同年7月19日に割り当てております。同社グループとの協業による企業価値向上は、同社以外の一般株主の皆様の利益にも繋がるものと考えており、2023年5月19日付で当社が公表した中期経営計画(2023-27年度)においても、グループシナジーの創出による企業価値向上を、同計画の基本方針を支える一要素と位置づけております。

他方、当社の事業運営上の有益性の観点から、当社は、上場の維持を経営の基本方針と考えております。

また、株式会社麻生との前記資本業務提携契約においても、当社の上場維持の方針が確認されております。

そこで、当社は株式会社麻生との資本関係を継続しつつ、公開市場における投資対象として十分なガバナンス水準を備えるべく、上場維持基準への適合に取り組んでまいります。

3. 上場維持基準に適合していない項目の課題と取組内容

流通株式比率の上場維持基準達成には、同比率を約 6.4%以上増加させる必要があり、当社は以下の取組を行ってまいります。

(1) 当社株式の保有者との間の積極的対話により、流動化、純投資明確化を推進します。

具体的には、上記資本業務提携関係にある株式会社麻生を除き、「事業法人等」である株主や、「生命保険会社」・「損害保険会社」である株主等、その保有株式が原則流通株式とみなされない者に対し、その保有目的を確認し、「純投資」以外の目的である場合は、保有比率引き下げに関する協議・検討を進めてまいります。

(2) 当社が保有する自己株式につき、これらを順次消却し、発行済株式総数を縮小することにより、流通株式比率を引き上げてまいります。

上記取組については、既存株主や市場環境への影響を勘案し、段階的に行うことが望ましいと考え、計画期間を 2025 年 3 月末までといたしました。また、その後も、継続的に流通株式比率を維持できるように努めてまいります。

以上